

J A 1 F Y Q 佐藤OM思い出をありがとう

DE JA1WOB 齋藤 章

J A 1 F Y Q 佐藤OMの訃報を聞いて大変残念でなりません。

当局のログによると、J A 1 F Y Q局との交信は1991年3月16日の15時となっています。

再開局して間もない頃で、50.240SSB モービルグループに参加し始めた頃かと思います。

そして、その年に初めて六道山から電波伝搬実験に参加して、移動運用の楽しさを知った頃でした。

当局は、時間があると、奥多摩や奥武蔵への移動運用に出かけて現地に到着して、50.240 で声を出すと、一番に声を掛けてくれるのは、J A 1 F Y Q局でした。

「今日は何処にいったの」の声に「奥武蔵グリーンライン顔振峠」と答えると、「W O B 局も好きだねー」との声を掛けてくれました。

また、六道山の故 J A 1 B S Z アンテナがある、場所から Q R V していると、何処に移動していたのか分かりませんが、突然アンテナを付けた車が来たので、よく見ると佐藤OMという事が何度かありました。

名栗村にある有間峠に移動していると、八王子モービルの佐藤OMからコールがありました、暫く話したあと、これから有間峠に行きますという事になり、1 時間位掛かると思いそのつもりで、Q R V していると、あのダートな広河原逆川林道をカットンで、40 分位で来たのは、「驚きがびっくり」でした。その時に使用していた、自作の2エレHB 9 C V のV SWRが 50.240 で 1.5 位でした、佐藤OMが持っていた、アンテナアナライザを取りだして、最低でも 1.2 以下にしようと長さを計算して、アルミパイプを「ゴシゴシ」とカットして、見事に V SWR 1.2 となりました。

ハムフェーで一緒になった時は、会場で昼食後に偶然、J A 1 A N の原元 J A R L 会長が近くにいて、佐藤OMが気軽に話しているのは驚きました。

こちらは、緊張して挨拶するのが背一杯でした。流石顔が広いなと感心しました。

その後、車で来ていた佐藤OMが送ってくれる事になり、スカイライン 2000G T で東京ビュクサイトから、高速を使わずに、右に左に車をかわして、あと言う間に新宿に着てしまいました。

それから、青梅街道を下り立川まで乗せてもらいました。それも怖い運転ではなく華麗なハンドル捌きで自他ともに認めた流石の「中年暴※※」でした。

当局が、電波伝搬実験のコントロール局を始めた頃から、佐藤OMは千葉県中心に銚子市、鴨川市、南房総市などに移動していました。

電波伝搬実験が近づくと「佐藤さんは、房総半島担当でお願いします」とリクエストすると、快く応えて頂き十数年間ありがとうございました。

料理得意の佐藤OMは新年の初日の出アイボール会では、特製の美味しいお雑煮を頂きました。

初めての初日の出アイボール会は、名栗村にある有間峠でした。

前日から、仕込んだ美味しいお雑煮を頂きました。

その後、六道山での初日の出お雑煮会が恒例となり、何年か続きました。

佐藤OMいつも美味しいお雑煮をありがとうございました。

「下記の写真は、50.240SSB モービル 40 周年記念アルバムの一部です」



サイレントキーされた 240 各 OM と、来年は F2 層の更に上で、お雑煮会とアイボール会でしょうか？、FBですね。

長年に渡り、無線交信やアイボールありがとうございました。合掌